

歩行者 ITS の公開実験のご案内

国土技術政策総合研究所では、歩行者 ITS の技術・システムについて、下記のとおり、マスコミの方を対象とした公開を行います。公開に参加を希望される方は、別紙の FAX 返信用紙にて、**11月12日(月)迄**にご連絡願います。

公開内容

歩行者 ITS プロジェクトの紹介

システムのデモンストレーション（視覚障害者、車いす使用者による利用）

マスコミの方による利用

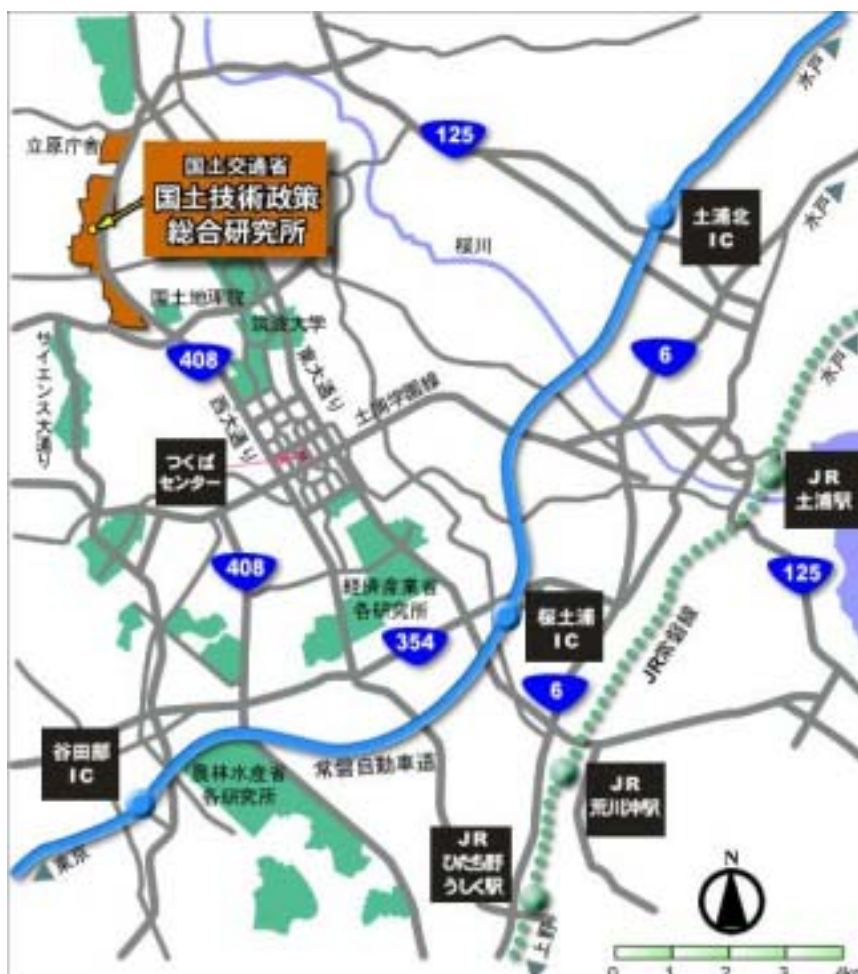
質疑応答

日時および場所

日時：平成 13 年 11 月 15 日（木）

時間：13:00～16:00

場所：国土交通省 国土技術政策総合研究所構内（茨城県つくば市大字旭 1 番地）



会場へのアクセス方法

バスで来られる場合

東京駅八重洲南口より「筑波山行き」高速バスを利用の場合

- ・東京駅八重洲南口 11:10 発、土木研究所前 12:32 着が便利です。

東京駅八重洲南口より「つくばセンター行き」高速バスを利用の場合（終点のつくばセンターから国土技術政策総合研究所まではタクシー利用となります）

- ・東京駅八重洲南口からつくばセンターまではバスで約 65 分です。東京駅八重洲南口発つくばセンター行きは、毎時 00 分、10 分、30 分、40 分、50 分発となっています。
- ・つくばセンターから国土技術政策総合研究所まではタクシーで約 20 分です。

鉄道で来られる場合

JR「ひたち野うしく」駅を利用の場合

- ・上野駅からひたち野うしく駅まで、所要時間約 1 時間です。

上野発	ひたち野うしく着
10:50 発	11:51 着
11:03 発	12:03 着
11:16 発	12:19 着

- ・ひたち野うしく駅から国土技術政策総合研究所まではタクシーで約 30 分です。

車で来られる場合

常磐自動車道を利用の場合

- ・谷田部 IC、桜土浦 IC が最寄りのインターチェンジとなります。インターを降りてから国土技術政策総合研究所までは、約 20 分となります。

お問い合わせは...

国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路空間高度化研究室 池田 裕二
電話番号 0298-64-4539

つくばでの実験風景



(別紙)

FAX 返信用紙

国土技術政策総合研究所道路研究部道路空間高度化研究室 行 FAX : 0298-64-0178

フリガナ
お名前 : _____ (同行者人数 _____ 名)

所 属 : _____

役 職 : _____

ご住所 : 〒 _____

TEL: () _____ FAX: () _____

e-mail _____

【11月15日(木)歩行者ITSシステム公開】
ご出席 ご欠席

お車でのご来場の有無をお知らせ下さい。
お車で来場する

- * 出席される方は、11月12日(月)までにご連絡願います。
- * 2名以上で参加される場合については、代表者についてのみ記載するとともに、同行者の人数を記入して下さい。

歩行者 ITS の概要

歩行者ITSをひとことと言うと。

歩行者の安全・安心・快適な移動を、情報通信技術によって支援するシステム。それが、「歩行者ITS (Intelligent Transport Systems)」です。

歩行者ITSが求められるわけは。

- 高齢化が進む中で、高齢者や体の不自由な方などの安全・安心・快適な移動を支援する歩行空間づくりが求められています。
- これまで、段差の解消、歩道幅の確保など、物理的なバリアの除去がすすめられてきました。
- さらに、歩行空間のバリアフリー化をすすめるために、これからは情報提供による安全・安心・快適な移動の支援が必要です。



歩行者ITSがめざすサービスは。

「危ない」を知らせます。

1

電柱などにぶつかりそうなときに注意を喚起します。横断歩道からそれたときや車道に入り込んだときに注意を喚起します。

車道に入りました。歩道は左側です。

注意の喚起

「どこなの」を教えます。

2

自分がどこにいるかを知らせます。また、車椅子対応のトイレなど、周りに何があるかを知らせます。

〇〇デパートの前です。

場所属性情報の提供

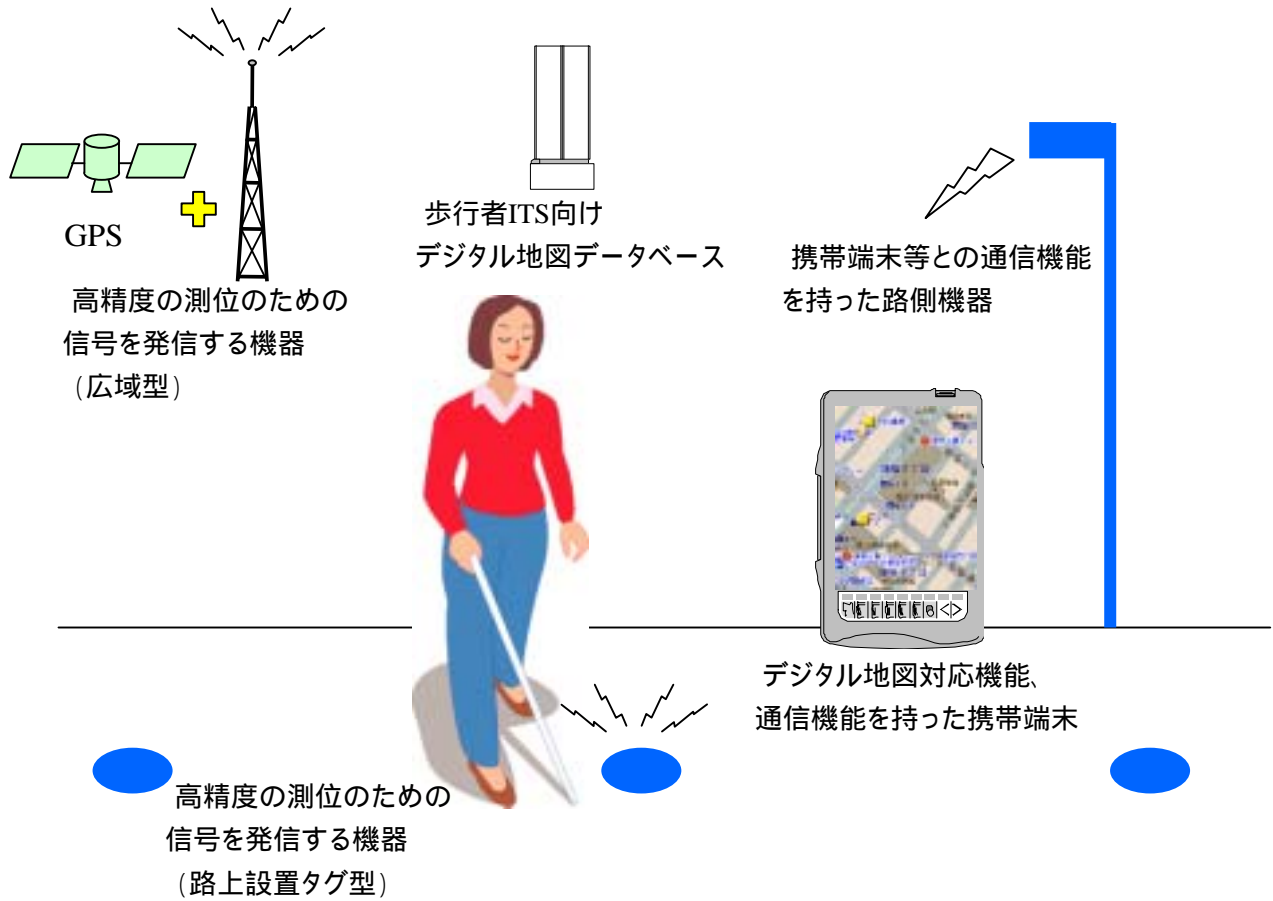
「行きたい」に応えます。

3

利用者の特性にあった通りやすい経路を探し出します。曲がるべき位置・向きを、案内します。

経路案内

歩行者ITSシステムイメージ



歩行者 ITS のサービスイメージ



図 - 1 歩行者 ITS のサービスイメージ ~安全・安心の情報提供~



図 - 2 歩行者 ITS のサービスイメージ ~現在の場所の案内~

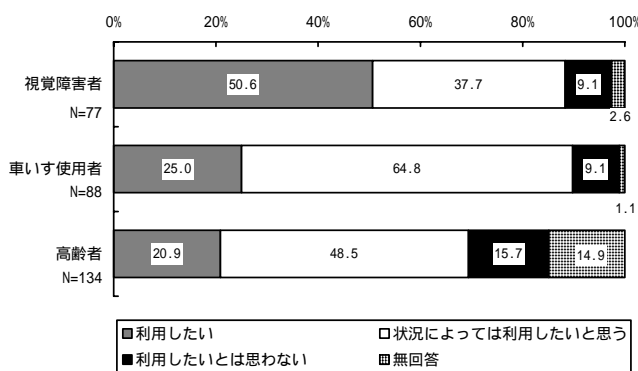


図 - 3 歩行者 ITS のサービスイメージ ~行き先までの案内~

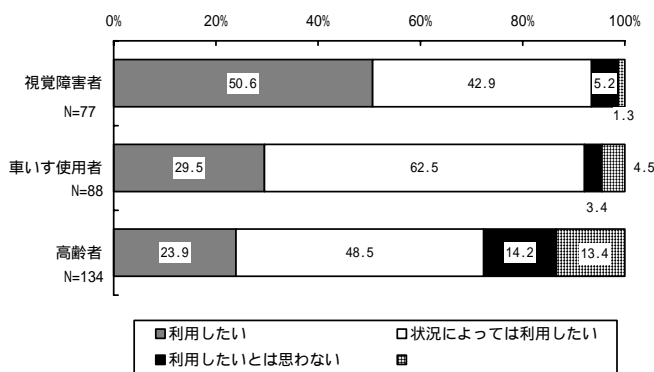
歩行者 ITS のサービスに対する高い期待

歩行者 ITS の提供する 3 つの基本サービスである注意喚起、周辺情報提供、経路案内のいずれに対しても、**視覚障害者、車いす使用者ともに 9 割、高齢者の 7 割**が利用したい、あるいは、状況によっては利用したいと回答^{注 1}

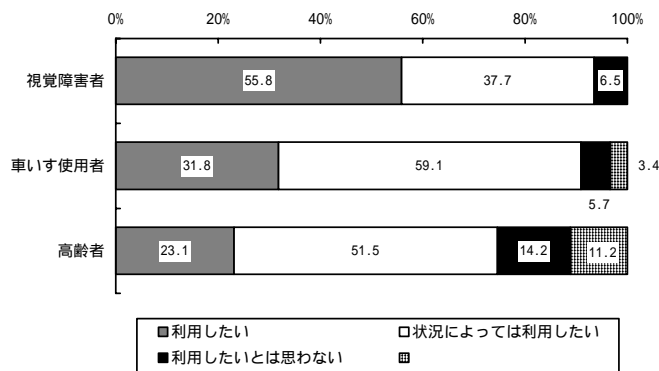
図表 1 注意喚起サービスの利用に対する期待



図表 2 周辺情報提供サービスの利用に対する期待



図表 3 経路案内サービスの利用に対する期待



¹ 国土技術政策総合研究所による「歩行者 ITS に必要なサービスに関するアンケート」(2001 年 4~6 月実施、有効回答数：視覚障害者 77 名、車いす使用者 88 名、高齢者 134 名。視覚障害者は日本点字図書館、筑波技術短期大学、東京都盲人福祉協会他、視覚障害者メーリングリストにおける賛同者の協力、車いす使用者は頸損連絡会、リハビリテーションセンター、TASC、車いす使用者メーリングリストの協力を得て実施。高齢者は東京都在住で 70 歳以上の男女を住民基本台帳により無作為に抽出・選定した。)



標準化の必要性

現在、民間数社により、様々な視覚障害者支援システムが開発されており、各自治体が個別に導入している。

【課題 1】他のまちに行くとシステムが使えない



【課題 2】たくさんの機器がないとサービスを受けられない



共同研究の概要

1．共同研究の内容

以下の3つの基本サービスを実現する技術・システムについて、複数の民間企業と共同で研究開発を進めています。

(1) 実現を目指す3つの基本サービス

目の不自由な方、車いすの方をはじめとする移動制約者に対して、注意喚起 周辺情報提供 経路案内 の3つの基本サービスを総合的に提供し、安全・安心な移動をサポートします。

(2) 歩行者 ITS を構成する技術・システム

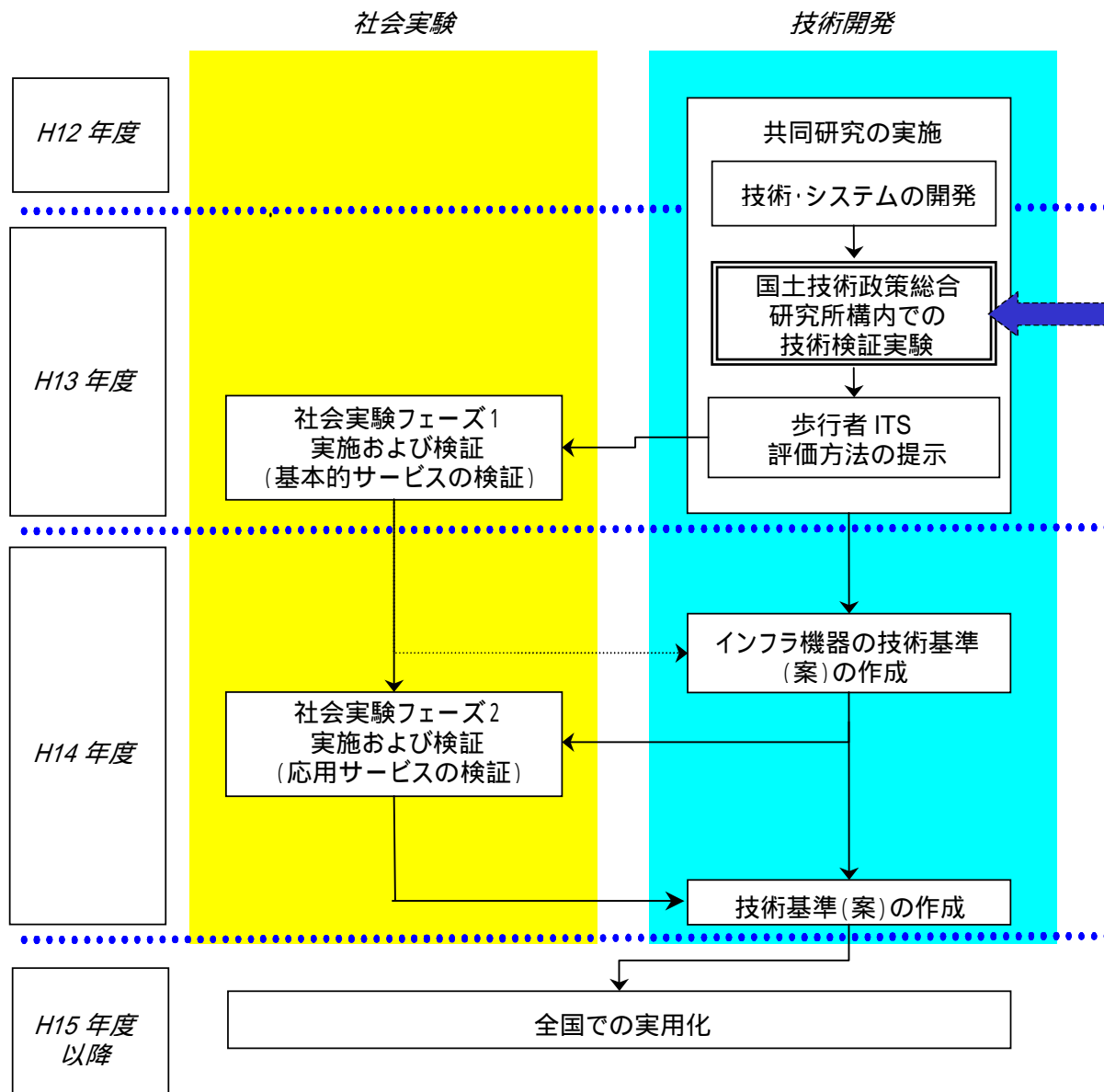
歩行者の位置を高精度に測定する技術、詳細なデジタル地図、通信機能を持った携帯端末、バリアフリーに関する情報などにより実現します。

2．共同研究参加企業

国土技術政策総合研究所と共同研究を行う民間企業は以下のとおりです。

<p>沖電気コンソーシアム 沖電気工業(株) カシオ計算機(株) (株)長大</p>	<p>NTT-com コンソーシアム NTTコミュニケーションズ(株) 住友電気工業(株) 富士電機(株) 中日本航空(株) DX アンテナ(株) 三菱地所(株)</p>
<p>中国情報システムサービス(アステル 中国) コンソーシアム 中国情報システムサービス(株) インクリメントP(株) (有)アール・シー・エス</p>	<p>NEC コンソーシアム 日本電気(株) 池野通建(株) 鹿島建設(株) KDDI(株) 積水樹脂(株) (株)日建設計</p>
<p>日立コンソーシアム (株)日立製作所 日立電線(株) (株)日立国際電気 (株)日立旭エレクトロニクス 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) DX アンテナ(株) KDDI(株) (株)テブコシステムズ</p>	

歩行者 ITS プロジェクト全体の流れ



H13 年度社会実験実施予定地区

- 1 . 札幌市都心部
- 2 . 東京駅周辺地区
- 3 . 梅田ターミナル地区
- 4 . 岡山市都心部
- 5 . JR 高知駅前